

令和元年 9 月 20 日

9 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では間伐材中心の原木生産だが、新材シーズンが始まり、皆伐材の生産も順調に行われ始めた。間伐材・小径木の荷は動いているが、価格は低迷状態。スギ、ヒノキとも新材は買い気配が見えてきた。中目材は虫害の影響もあり、無入札が多い。盆が明けて先行き需要増が見込まれ、値上げに転じると見られる。

群馬県でも原木の出材は順調で集荷も容易だが、例年より虫害が遅い。原木価格は安値安定である。原木在庫は十分で、システム契約以外の入札は手控えている。地場の製品市場、材木店、工務店からの受注は低調だが、9 月中旬までのプレカット材の出荷は順調である。製品販売は例年より少し悪く、受注残、見積とも少ない。製品在庫は通常。製材品価格は少し下落して安定している。

2. 米材

米加産地では山火事警戒時期がほぼ終了した。港頭在庫は減少中。特にカナダ最大手のシッパーは年前半の伐採が順調で、調整のため 8 月の伐採を停止した。ウェアハウザー社の 9 月積み対日価格(推定)は IS 級\$810、前月比\$10 ダウンの決着で 5 ヶ月連続の値下がりとなった。産地側に下げ要因はないが、前月同様、日本国内の米マツ平角の競合品である欧州 RW 集成平角の先安感を考慮。7/1 に開始されたカナダ製材大手の WFP のストライキが継続中で、INTERFOR も労使協議中でストライキ突入の可能性が高まってきた。ランダム レングス紙発表の 15 種平均価格(8/30)は\$346 で 8 月頭に比べ 3.2%アップ。米国内需要は余り芳しくなく産地価格は変わらず。第 4 四半期の対日価格は出ていないが、為替の影響もあり、ドル価格は同水準が見込まれる。

7 月の原木入荷量は 162 千 m^3 と一転して低調、1~7 月累計で 1,494 千 m^3 (前年同期比 6.2%減)。出荷量は 172 千 m^3 、1~7 月累計は 1,454 千 m^3 (同 6.8%減) で徐々に入荷量と同水準に収斂してきた。在庫は 207 千 m^3 に減少し、在庫率は 1.0 ヶ月。国内製材工場の稼働は引き続き順調。米材製材最大手が 7 月中旬に製品の値下げを実行した。東京木材埠頭の 8 月入荷は 19 千 m^3 (前月比 29.6%減)、出荷は 23 千 m^3 (同 12.0%減)、在庫は 49 千 m^3 (同 4.0%減)。盆休みの影響が大きく木材埠頭の在庫は過多。各社とも在庫が多く積極的な買

いに欠けている。

3. 南洋材

サバ州では天候良好で伐採も活発。現時点で原木輸出再開の話は出ていない。サラワク州も天候良好で伐採は活発である。インド向けの引き合いが戻り、FOB 価格は安定している。PNG、ソロモンでは天候不順で場所により生産のバラツキがあり、総じて出材量は少ない。中国からの引き合いが低調なため、需給バランスは保たれている。FOB 価格に大きな変化はない。9月予想の原木入荷 6 千 m^3 、出荷 12 千 m^3 、在庫 32 千 m^3 、製材品入荷は 33 千 m^3 。製材品入荷の半分を占めるフリー板は市況が低迷しており、契約数量減で入荷量は減少。

4. 北洋材

シベリア主要シッパーのアカマツ原木減、品質低下に変化はない。製材工場の稼働は相変わらず低調でアカマツ野縁（30×40）の上級グレードの対日供給量は依然として低水準だが、対日主力工場は最低数量を維持している。中国、韓国とも市況低迷が続く、各社ともローグレード材の処分に苦戦している。アカマツ完成品の産地価格はジリ高。現地挽き原板の良材は高値を唱えているが、商売は成立していない。上級グレードの流通在庫は皆無で国内価格も毎月ジリ高が続く、WW やエゾ等に代替の動きもある。国内製材工場の原板在庫は十分であり、引き合いも一服した。9月予想の原木入荷、出荷とも 7 千 m^3 、在庫は 22 千 m^3 。製品入荷量（東京+川崎）は 17 千 m^3 、出荷 21 千 m^3 、在庫 33 千 m^3 。

5. 合板

合板用原木について、国産材はアカマツの引き合いが強くなっている。東北産カラマツは高値張り付きの状況。ロシア材は積込の遅れが慢性的で出材は限定的である。米材は弱含みで伐採が減少している。南洋材は産地原木価格の低調により先行き不透明になっている。

7月の国内合板生産量は過去最高の前月を上回る 29.5 万 m^3 で、そのうち針葉樹合板は 28.6 万 m^3 で過去最高となった。出荷量は 29.0 万 m^3 で在庫量は 13.7 万 m^3 となり、このうち構造用合板は 10.6 万 m^3 と前月より減少。針葉樹合板は活発な荷動きが続く、全体的に在庫が減っており、即納での配送が難しくなっている。極端な安値はなくなり、価格は徐々に引き締まっている。一部工場の火災で長尺の構造用合板がかなり逼迫し始めている。輸入合板は低調な荷動きに加え、盆休みもあり、一層の停滞感が見られた。価格は弱含みの状

況に変化はない。6月合板輸入量は19.9万 m^3 と3ヵ月連続の20万 m^3 割れとなった。インドネシア産は平均的な輸入だが、マレーシア産は7万 m^3 を切る入荷となった。インドネシアでは原木価格の低位により伐採業者の出材意欲が低下している。マレーシアでも原木価格の低下で出材は減少。各工場とも日本向け出荷は低調である。

6. 構造用集成材

9月のラミナ仕入は各メーカーとも在庫を抱えているため、かなり少ない。第4四半期の契約は前回比横ばいか、若干の下げの見込み。国内メーカーの9月の受注は上向き、荷動きも若干良い。秋需もあるため、プレカット工場は11月までは多忙が予想される。WW管柱は1,870円～1,880円/本と横ばい、RW平角は57,000円/ m^3 と下げ傾向。スギ集成柱は不足感がある。輸入集成材は産地の日本への販売意欲が強い。例年通り夏休みの影響もあり、今後入港量は不安定になると予想される。

7. 木材チップ

大手製紙会社が針葉樹系を抑制しており、針葉樹原木の余剰感が強い。製紙用針葉樹チップは過剰在庫の状態である。解体材は定期修理、トラブル等で使用量が大幅に減少。災害・空家対策等で発生は依然多く、大幅な余剰感がある。各社とも外土場を確保し、受入に努めているが、在庫の大幅増加で受入制限、受入止めの工場も多い。解体燃料は出荷が出来ず、過剰在庫が継続している。9月に解体材を主原料とした大型バイオマスボイラーの稼働も予定されているが、潮目がいつ頃変わるのか見通しが難しい状況である。

8. 市売問屋

盆明け後も荷動きは悪い。製品市場では国産材、外材構造材とも増改築分の動きしか見られない。造作材は都内では和室が減っているので、従来からの役物の寸法(45×105×4,000、40×45×4,000)等の既製品も消えている。9月は消費税増税の駆け込み需要が少しは出ることを期待したい。

9. 小売

木材、建材ともに8月は稼働日数が少なかった影響もあり、一服感がある。スギ、ヒノキ構造材とも大きな変動はない。米ツガ材は産地製材工場の休止で集荷に不安がある。欧州材は保合い。ロシア材は依然集荷に苦労している。造作材は夏休み期間中の学校関係の動きが出てきた。また店舗関係を中心にカウンター材の売れ行きが良い。フローリング関係は売れ行きが鈍く、一服感がある。針葉樹合板の荷動きは鈍く、消費税増税の影響は感じられず、価格は保合い。大手プレカット工場を中心に稼働はほぼ目一杯の状況である。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和元年9月20日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	↘	↘
	製材品	↘	→	→
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	↗
			スギ中丸太(3.65m)2等	→
			ヒノキ柱材(3m)2等	↗
			ヒノキ中丸太(4m)2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱(KD)10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↘
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↘
米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	↘			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40上級	→
		アカマツ(KD)16×40上級	→	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→